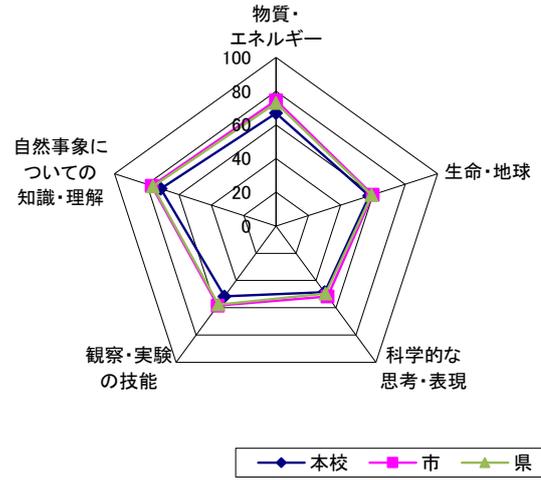


宇都宮市立清原東小学校 第4学年【理科】分類・区分別正答率

★本年度の県、市と本校の状況

分類	区分	本年度		
		本校	市	県
領域等	物質・エネルギー	66.9	74.5	72.9
	生命・地球	57.7	59.8	59.2
観点	科学的な思考・表現	48.6	51.6	49.7
	観察・実験の技能	51.6	58.4	57.7
	自然事象についての知識・理解	71.4	77.0	76.2



★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

分類・区分	本年度の状況	今後の指導の改善
物質・エネルギー	<ul style="list-style-type: none"> ●市の平均正答率を下回っており、この領域全体に課題がある。 ●磁石に付けると磁石になるものがあることや、回路をつくる時の導線の安全なつなぎ方、電気を通すつなぎ方については、市の平均正答率を大きく下回っており、課題である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・3学年の学習内容を、動画を見たり練習問題に取り組んだりすることを通して、現象の理解を深める。 ・実験の目的をしっかりと把握させ、予想を立ててから実験を行うようにする。また、実験の結果から考える活動をより多く設ける。 ・実験は、予想を立てたことを調べるためにどのような実験をすればよいかなど、話し合ったり考えたりする時間を設定する。
生命・地球	<ul style="list-style-type: none"> ○市の平均正答率とほぼ同じである。 ○昆虫の育ち方に関する問題の正答率は、市の平均正答率より高く、また、昆虫の生態に関する記録をもとに考察することについても県の平均正答率を上回っている。モンシロチョウの成長の学習では、地域の方に来ていただき、オオムラサキの話を聞いたり見たりすることも成果の一つと考えられる。 ●植物の育ち方をもとに適切なグラフを選ぶ問題については、市の平均正答率より下回っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・観察や実験の方法や結果、それに対する自分の考えを、図・表・絵・グラフ・言語といった様々な表現方法で説明したり、まとめたりする活動を、より多く設定する。 ・単元のまとめとして、個人やグループで新聞を作る活動を行い、学習内容の理解を深める。